

申緑が丘

自主
健康
友愛



←学校HP
はこちら

まなびフェスト結果について

A：あてはまる B：あてはまるほうだ C：あまりあてはまらない D：あてはまらない
各項目において、肯定的回答（A+B）の割合が80%以上になることを目指しています。

【自主】自ら考え、進んで学習する生徒

目指す生徒の姿／学校の取組／家庭の協力	回答者	肯定的回答(%) ()は中間結果
自ら学ぼうとする わかりやすい授業、学ぶ意欲を育む授業 夢・進路・学ぶ意欲を育む言葉がけ	生徒 教員 保護者	93 (92) 73 (82) 81 (80)
自分の考えを深めたり、広げたりする 調べ学習、対話的な学びの場、読書指導の充実 子供との対話、よい本に触れる機会	生徒 教員 保護者	91 (95) 100 (91) 62 (62)
学習状況を把握し、自ら改善する 授業の振り返り、授業と連動した家庭学習 学習に集中できる環境整備	生徒 教員 保護者	84 (85) 73 (64) 64 (72)

取組成果・今後に向けて

- ・【**自ら学ぼうとする**】「単元テスト」「岩中リベンジャーズ」に向けての取組や「つまずき」を克服しようとする意識が高まっています。今後も自らの課題をとらえ、自分に合った学習内容や方法を決めて実行する「自己調整力」や「学習習慣」を育てていきます。そのために、次年度は「ICT機器を効果的に活用した個別最適な学びや岩泉中学区の小学校と連携した「家庭学習の取組」」を推進してまいります。
- ・【**学ぶ意味・進路指導**】「将来のことを考えたり、学ぶ意味を伝えたりする機会」は、主体的に学ぶ意欲を育む原動力となります。体験学習等の内容を系統的に整理し、アントレプレナーシップ教育の考え方を踏まえたキャリア教育を推進してまいります。

【健康】たくましい心身をもち、実践力のある生徒

目指す生徒の姿／学校の取組／家庭の協力	回答者	肯定的回答(%) ()は中間結果
生活リズムが整っている 学習・睡眠・メディア時間を自らが決め評価する場 規則正しい食事・睡眠・メディア時間、ルール作り	生徒 教員 保護者	78 (82) 64 (73) 69 (71)
安全感覚を備えている 防災学習・交通安全・犯罪に巻き込まれない指導 通学路の危険箇所・緊急避難先の確認	生徒 教員 保護者	91 (95) 91 (100) 69 (78)

心身が健康である やりがいある活動・心のケア・SOSの出し方 子供の表情・変化の観察、通院・早期治療	生徒 教員 保護者	98 (99) 91 (82) 100 (98)
--	-----------------	--------------------------------

取組成果・今後に向けて

- ・【**生活リズム・情報メディア機器の使用**】学校では、帰宅してからの時間の使い方（学習時間、メディア使用時間、就寝時刻等）を自ら決めるタイムマネジメントの取組を行ってきました。時間の使い方を見える化（グラフ）することで、学習や生活リズムの改善が見られた生徒はおりますが、依然としてメディア使用時間（特にゲーム時間）が長く、生活リズムを乱す生徒もおります。今年度の家庭教育学級では、講演題「スマホ等のマスメディアの健康への影響」について、「適切な使い方と工夫」と「心身を守る習慣づくり」を子どもも大人も一緒に考える機会を設けました。今後も本人、学校・家庭・PTA・地域が連携・協力した取組を推進してまいります。
- ・【**SNS等の使い方**】SNS等のトラブルが表出する場面は少ないですが、不適切な使い方は依然としてあります。また、この課題は、友人関係にも影響をしてくる現状もあり、指導に苦慮するケースもあります。毎月14日の「岩泉町情報モラルの日（意志の日）」を重視し、生徒への指導や保護者への啓蒙を継続的に行ってまいります。

【友愛】 郷土を愛し、心豊かな生徒

目指す生徒の姿／学校の取組／家庭の協力	回答者	肯定的回答(%) ()は中間結果
良好な対人関係をつくる 多様性を尊重する集団づくり、教育相談の充実 あいさつの励行、会話	生徒 教員 保護者	99 (96) 82 (100) 97 (98)
自分のよさがわかる 生徒一人一人の活躍の場、よさや成長を認める声かけ 子供の成長やよさ、感謝の言葉、家庭での役割	生徒 教員 保護者	77 (77) 82 (82) 91 (87)
郷土や人の役に立ちたいと思う 郷土学習、地域との関わり、ボランティア活動 親子での地域行事・活動への参加	生徒 教員 保護者	93 (96) 100 (100) 62 (64)

取組成果・今後に向けて

- ・【**郷土愛・自己肯定感**】学校では、よさや小さな成長を認め、生徒たちが失敗を恐れず様々なチャレンジを行っていけるよう、教師の肯定的な関わりや、生徒同士の認め合いの場を多く設けてきました。特に、生徒自らが地域に入って活動する「TIVoグループ」のボランティア活動では、地域の方々から感謝される経験を通じて、「自分は役に立っている」という実感を高めるとともに、地域の方々とのつながりの大切さや社会貢献による満足感を味わっています。次年度も、地域と連携・協働したボランティア教育や復興教育、そして環境教育の充実を図り、岩泉をもっと素敵に、岩泉をもっと元気に、そして岩泉をもっと好きになる！教育活動を推進してまいります。
- ・【**あいさつの励行**】家庭でのあいさつの励行が高い評価となっている一方で、「集団の時には挨拶できて個人で対面したときの挨拶が少ない。」との反省が上げられています。また「子どもだけでなく、大人もその姿勢を見せること、地域全体で取り組んでいく課題ではないか」とのご意見もいただきました。引き続き、生徒の主体性を尊重しながら、どの生徒も場に応じたあいさつができるよう、学校・家庭・地域の思いを共有し指導してまいります。

第3回学校運営協議会開催(2.20)

【学校運営協議会委員からの意見】

- ・TIVoグループの実績が素晴らしい。さらに依頼数と実績報告（参加人数、時間など）があると説得力が増すと思います。自然環境・特定外来種の知見と駆除などのボランティアを一

緒に活動してほしい。

- 学校評価に関わって経年的なデータを示してはどうか。また、数字ではなく、問題点とその対策について、どのように対応していくのかの方向性を具体的に示してはどうか。など